



品番 LGDC1202NLE1 LGDC1202VLE1
LGDC1202LLE1

お願い	施工時、使用の前に検知範囲、点灯保持時間などの調整が必要です。説明書を必ずお読みください。
お客様へ	器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店、工事店に依頼してください。
工事店様へ	施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

■ 天井

- 次のような場所には取り付けない
火災・落下によるけが、天井材破損のおそれがあります。

- ・強度のない薄い天井面
- ・ロックウールなどのやわらかい天井面
- ・傾斜した天井面



禁止

- ◎この器具は水平天井面埋め込み専用です。
- ◎石こうボード(9mm以上)に取り付けできます。

- 特殊な断熱・遮音・防音施工された天井には取り付けない

過熱して火災のおそれがあります。

日本照明工業会SB・SG I・SG形適合品

マット敷工法

ブローイング工法



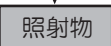
- 照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように考慮して取り付ける

守らないと、照射物の変色、火災のおそれがあります。

照射物近接限度10cm



(ドア・家具・布などの可燃物)



- 本体を埋込穴に確実に押し込む

押し込みが不十分な場合、ガタツキ、器具落下のおそれがあります。



必ず守る

■ 壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。



必ず守る



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(取り外しには資格が必要です。)

■ その他

- 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行う
取り付けに不備があると、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

- 交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

- 電源線は端子台の差込穴の奥まで確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、火災・感電のおそれがあります。

- 接続する換気扇は1～30Wのものを使用する

この範囲を超えて使用すると、火災のおそれがあります。

- 屋内配線の電源、ケーブルなどは器具に接触させない

火災のおそれがあります。

- 換気扇への送り専用端子台に電源線を接続しない
器具が破損します。



必ず守る



禁止

注意



水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は、防湿、防雨型ではありません。



必ず守る

●器具の取り付け取り外しは手袋など
保護具を使用する。
けがのおそれがあります。

施工前にお読みください

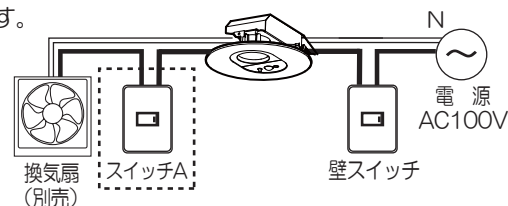
設置場所についてのご注意

- トイレ以外でもご使用できますが、連続点灯はできません。また、検知範囲を狭小空間に合わせて設定している為ご注意ください。
- 次のような場所には取り付けないでください。
 - ・検知範囲内の温度変化量を検知しますので、検知範囲内に熱源や動くものがあると、人がいなくても点灯する場合があります。
 - ・検知範囲より大きな部屋では人を検知出来ない場合があります。



配線についてのご注意

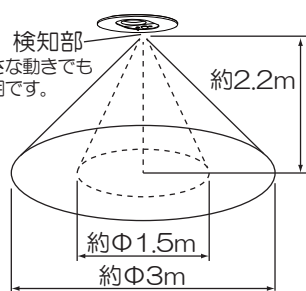
- 必ず壁スイッチを設けてください。
 - ・センサによる動作に異常が発生したとき、リセット操作に壁スイッチが必要です。
 - ・長期使用しない時や、お手入れの際に電源を切ることができます。
 - ・換気扇を連続動作させることができます。
- 換気扇のみOFFしたい場合はスイッチAを設置ください。
- 換気扇は消費電力1～30W、ACモータータイプのみ接続可能です。DCモータータイプ、センサ付き、24時間換気の換気扇は接続できません。（接続する換気扇は別途お求めください）
- 通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。
- ほたるスイッチと接続する場合は1回路につきスイッチ1個まででご使用ください。（2個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切りにしても器具が消灯しないことがあります。）
- 壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態でも照明器具が消灯状態（センサ待機状態）のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。（故障ではありません）



センサの検知範囲とエリアカット

<検知範囲の目安>

- 必ず点線内に便器がくるように取り付けてください。
※点線部は小さな動きでも検知する範囲です。
- センサはおおよそ右図の「検知範囲」で検知します。右図の「検知範囲」を参考にしてください。（記載の検知範囲はあくまで目安としてお考えください。）
- 検知範囲は、付属のエリアカットシールを取り付けることで狭くできます。
- エリアカットシールを貼り付けて検知範囲を調整できます。

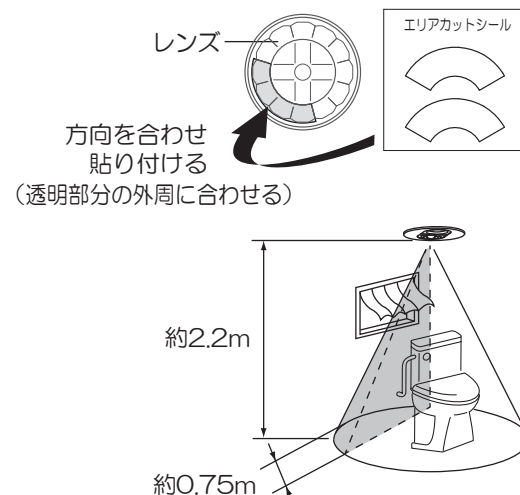


ご注意

- この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物など人以外の動きも検知して照明が点灯する場合があります。また、静止状態の人などは検知しない場合があります。
- 検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや方向などにより変化します。
- 夏場など、気温が体温に近い状態になると、温度変化が小さいため検知しない場合があります。
- 自動開閉式便座を使用している場合、センサがふたの開閉を検知して自動的に点灯する場合があります。（点灯保持時間経過後、消灯します。）

エリアカットについて

- トイレに窓があり、カーテンが風にゆれて点灯する場合は、検知部のレンズに検知エリアカットシール（付属）を貼り付けて、エリアを狭めてください。

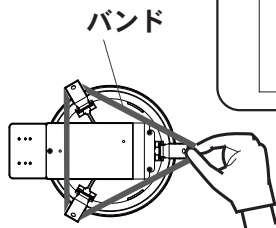


各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

取り付け前のご注意

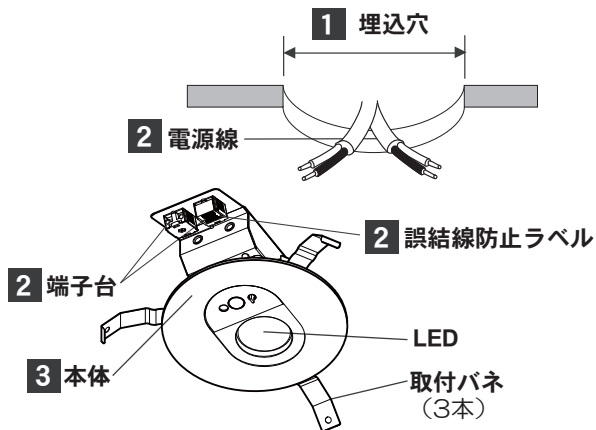
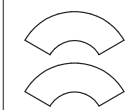
- 表面に凹凸のある天井の場合は、気密性が損なわれるおそれがありますので、平面に仕上げてください。
- バンドを外してください。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。



付属部品

□ 検知エリアカットシール(1枚)

エリアカットシール



照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

1 天井に埋込穴をあける

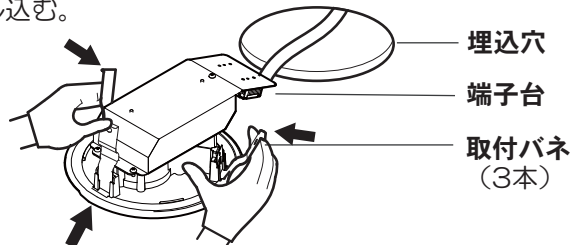
- 天井の厚さにより、下記寸法の埋込穴をあける。

天井の厚さ	埋込穴寸法
5mm以上 9mm未満	$\phi 150 \pm 1 \text{ mm}$
9mm以上 25mm以下	$\phi 150 \begin{smallmatrix} +3 \\ -0 \end{smallmatrix} \text{ mm}$

※指定寸法でない場合、すき間があきます。
精度よく穴をあけるために、
ダウンライトカッターの使用をおすすめします。

3 本体を埋込穴に入れる

取付バネ(3本)を押さえながら、端子台側から埋込穴に押し込む。



- 石こうボードに取り付けた器具を取り外す場合は、枠部をゆっくり引き下げて取付バネ(3本)を押し曲げながら取り外してください。取り外しに不備があると、天井材破損の原因となることがあります。

2 端子台に電源線、送り線を接続する

①電源線を下図のように加工する

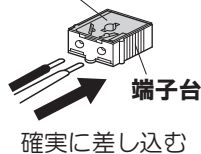
- 適合電線：VVFケーブル $\phi 1.6$ 、 $\phi 2.0$ 単線



②電源線を端子台に差し込む。

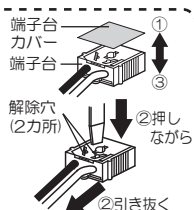
端子台カバーは、取り外さないでください。
電源線を外すために取り外した場合は、
取り付け直してください。

端子台カバー

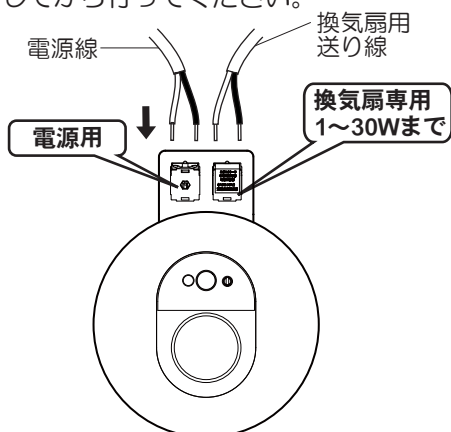


器具の取り替えなどで
電源線を外す場合

- ①端子台カバーを取り外す
- ②マイナスドライバー等で解除穴を押しながら電源線を引き抜く
- ③端子台に端子台カバーを取り付ける



- 換気扇用送り線を差し込む場合は、誤結線防止ラベルを剥がしてから行ってください。



注意

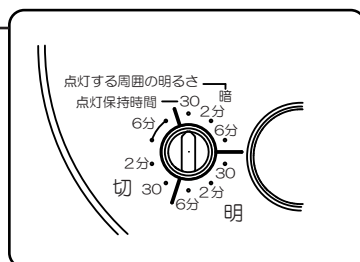
換気扇への送り専用端子台に電源線を接続しない。
接続する線を間違えると、故障の原因となります。

検知範囲と調整ツマミを設定する

昼間でも設定できます

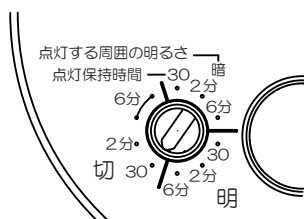
1 検知範囲を設定する

出荷時の設定



【手順】

- ①壁スイッチをOFFにする。
- ②調整ツマミを以下の設定(切-30)にする



- ③壁スイッチをONにする
- ④センサの検知範囲の外にでる

・照明が約40秒間点灯してから消灯します。

「消灯しない場合は以下の原因が考えられます。」

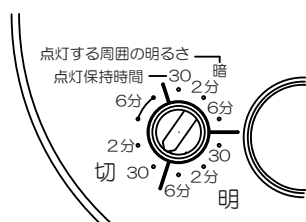
「・センサの検知範囲に入っている⇒センサの検知範囲から外に出る」

- ⑤照明が消灯したら器具に近づき、検知範囲を確認する
 - ⑥検知範囲を変更したい場合は、エリアカットシールを貼り付ける
- ☞ 2ページ「センサの検知範囲とエリアカット」参照

いったん壁スイッチをOFFにして

2 点灯保持時間、点灯する周囲の明るさを設定する

点灯保持時間(約30秒、約2分、約6分)、センサのはたらきはじめる周囲の明るさ(暗、明、切)を設定する
・調整ツマミを回してお好みの位置に合わせてください。



- (注意) ・調整ツマミが“カチッ”とするまで回してください。
・検知範囲に人がいても静止している場合、設定保持時間後、消灯します。